

# 「小鳥のボックス」 を作ろう

庭やベランダに置いて、ミニフラワーボックスに。リビングに置いて、リモコンや文房具入れに。置く場所によって、何を入れてもかわいく見えるマルチ小物入れです。前後の板を鳥や動物、花など、好きな形に切り抜いて个性的に。ハイパワー工具のジグソーを使えば、曲線カットもカンタンにできます。夏休み、親子で一緒に作ってみませんか。



工具協力／パナソニック電工パワーツール(株)

「ミニヒマワリ」の小さな鉢植えを入れて、フラワーボックスに。

**8** 好きな色、デザインにペイントをする。



**9** 鳥の翼の部分に、木工用ボンドで押し葉を貼り付ける。(完全に乾燥した後、透明ニスを吹き付けておく)



**6** 下穴をあけた位置に、インパクトドライバーで木ネジを締める。



**7** 本体部分(前板と後板)も同様に組み立てる。



**3** 前板と後板、底板のネジを締める位置に印を付ける。



**4** 曲線に切り抜いた木口にサンダーをかけ、なめらかに磨く。



**5** ボックス部分を組み立てる。まず、両面テープで仮止めてから、ネジを締める位置にドリルドライバーの下穴ビットで下穴をあける。



**1** 木材に図面どおりにスマ付けし、パワーカッターで直線カットする。



**2** 前板と後板の曲線部分は、ジグソーでカットする。



\*木工関連の材料やサービスについて、一部抜いていないホームセンターもあります。



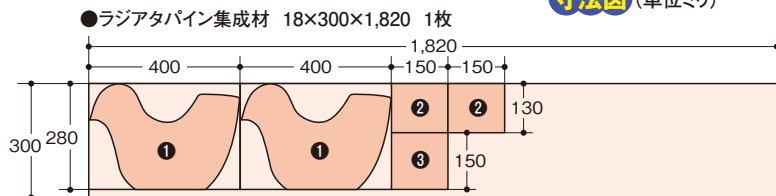
木材・用具

- **木材・用具** ①木材(ラジアタバイン集成材) ②押し葉 ③木工用ボンド  
 ④ウェス ⑤両面テープ ⑥木ネジ(25mm) ⑦絵筆 ⑧水性塗料(数色)  
 ⑨カネジャク ⑩鉛筆 ⑪ドライバースイッチ(下穴用、プラス)  
 ● **電動工具** パワーカッター、ドリルドライバー、  
 インパクトドライバー、ジグソー、サンダー

▶ 完成した作品を前に。  
 ● パコマ読者スタッフ/松橋さん(左)、須田さん(中)  
 ● カイマ21熱田店・DIY担当/山本さん(右)

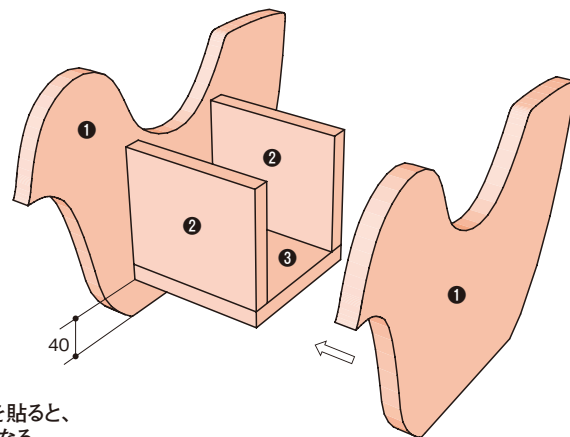
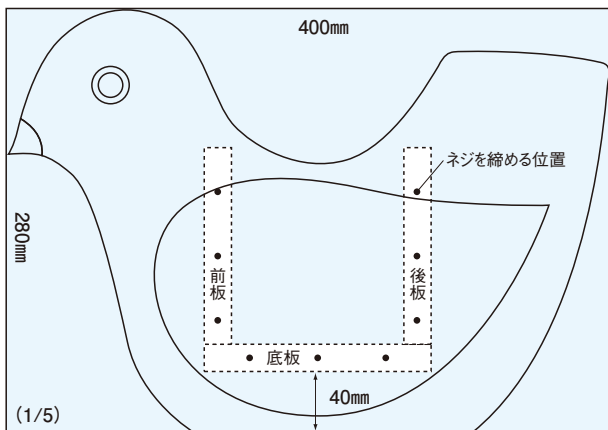


寸法図 (単位ミリ)



■ 型紙を作ってジグソーで好きな形にカット

曲線部分はジグソーで自由にカットできます。前もって切りたい形の原寸大型紙を作っておけば、より正確に切り抜けます。また、ネジを締める位置も、型紙を利用して印を付けることができます。



■ 翼に押し葉を貼ると、鳥の羽らしくなる

散歩の途中や公園で拾った落ち葉を集めておいて、新聞紙などに挟み重石をして押し葉にしておきましょう(水分を抜き乾燥させるため)。生のまま貼ると乾いたら色が変ったり割れてはがれ落ちたりします。



※葉っぱの変わりに、木の枝や木の実、貝殻などを貼り付けても、夏休みの楽しい思い出に。

DIYのスクレモノ

ハイパワーの  
10.8Vリチウムイオン電池パック



12V相当のハイパワーで、電池寿命も長く、ビギナーには本格木工の楽しさを、マニアには納得の使い心地と作業バリエーションが楽しめます。1個あれば、シリーズすべての工具に共用でき、従来の12V工具にも使えます。